

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	家庭				
担当者氏名	富井 和美				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性			

《授業の概要》

- ・家庭科教育の内容・指導について理解する。
- ・調理・裁縫などの生活スキルの体験的・探究的活動を通して、実習の指導に必要な技術を習得する。
- ・実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に取り入れる。

《テキスト》

「わたしたちの家庭科5.6年」開隆堂 文部科学省検定教科書

《参考図書》

「できますか？教えられますか？家庭科の基本」Gakken

《授業の到達目標》

- ・家庭科の基本的な知識、技術を身につける。
- ・手縫い、ミシン縫いによって作品を製作したり、調理実習の計画を立てたりすることができる。
- ・地球環境保全を考えた生活を提案することができる。

《授業時間外学習》

教科書や手順書で実習の予習をしておく。
技術を身につけるために家庭生活で実践し、応用する。

《成績評価の方法》

- ・授業参加度・・・・・・・・・・・・・・・・・・40%
- ・提出物（作品・レポート）・・・・・・・・・・60%

《備考（教員経験の有無）》

家庭科（高）小、中、高（特別支援学校）の教育経験に基づいて構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	家庭科教育の内容	家庭科教育の変遷、内容、指導方法を知る。
2	実習を指導するための基本	家庭科室の使用、安全な使い方、指導について
3	被服の講義と実習1	裁縫道具の扱い 手縫いの基礎
4	被服の実習の指導2	手縫いの小物づくり
5	被服の実習の指導3	手縫いの小物づくり
6	調理の講義と実習1	調理器具の扱い 調理の基本
7	調理実習の指導2	献立の作成と実習（日常食の調理①）
8	調理実習の指導3	献立の作成と実習（日常食の調理②）
9	調理実習の指導4	献立の作成と実習（日常食の調理③）
10	被服の講義と実習4	ミシンの使い方の基礎
11	被服の実習の指導5	家庭生活に役立つ物の製作
12	被服の実習の指導6	家庭生活に役立つ物の製作
13	地球保全を考えた生活	持続可能な住環境の提案
14	地球保全を考えた生活	持続可能な生活と家庭科
15	中学校技術家庭科との関連とまとめ	中学校技術家庭科との内容のつながりを把握し、全体のまとめをする。